

# せいきょう連ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315 HP : <http://okayama.kenren-coop.jp/>

岡山県宮地副知事との懇談を行いました。

2月9日(金) 県庁会議室

## 生協への理解を広げ、県の抱える課題を共有

「安心してらせる地域社会づくりへの参加と取り組み」をテーマに副知事との懇談を行いました。県からは、宮地副知事、くらし安全安心課森脇課長、立岡総括参事、松本副参事、県生協連からは、会長、副会長3人、女性理事3人、事務局長の計8人が参加しました。

生協から、県生協連の現況や地域社会づくりの活動、ヘルスチャレンジの健康局長優良賞受賞、各生協の地域社会づくりへの参加における特徴的な事業や取り組みについて、また、全国的に高まる生協への期待や評価と岡山県で進められている自治体との連携や買い物弱者対応などについて報告しました。

副知事から、過疎化・高齢化の進む集落での買い物支援など生活に必要な機能維持への生協の役割発揮に対する期待、子ども食堂の実施状況、健康寿命を延ばす取り組みが重要なことなどについて意見や質問を頂き、生協からの説明や報告を行いました。また、県では人口減少問題に対して、出生率を上げることが課題化していることや高い未婚率に対して結婚支援の取り組みを進めていることなどの説明があり、今進めることが、10年後、20年後を大きく左右するとの視点で取り組みを進めていると話されました。生協に対する理解を広げるとともに岡山県が抱える課題や取り組みを認識できる場となりました。



岡山県行政との懇談会を開催しました。

2月9日(金) 県庁会議室

## 「県への要望書」の回答を受け、意見交換

県行政との懇談会を開催しました。くらし安全安心課から森脇課長、立岡総括参事、松本副参事、長寿社会課から高原総括参事、健康推進課から竹ノ内総括参事が参加し、県生協連からは10名が参加しました。

森脇課長から、午前中の副知事懇談で生協が行っている様々な取り組みや活動を改めて知ることができたとの挨拶が行なわれ、県生協連からは開催のお礼を伝え、懇談に入りました。最初に森脇課長から県生協連が10月下旬に提出した「県への要望書」に対する回答が行なわれ、その後懇談を行いました。懇談では、買い物弱者や配食への対応など増える自治体の生協への要望に対して、迅速な県との協議で実現させていくことなど今後の対応、ヘルスチャレンジへの県の支援、自治体での生協への理解不足に対する対応、地産地消と県内農家の継続育成を一緒に進めていくこと、地域包括ケアシステムに関しての生協の関わりや生活支援サービス、消費者被害の状況、おかやま縁むすびネットの成果と課題、福祉目的事業での員外利用、知事へのヒバクシャ国際署名、災害対策への協力などについて意見交換を行うことができました。様々なテーマについて、今後に向けて留意すべきことや大事にしていく点などを共有することのできる場となりました。



## 生協運動のいまと未来 協同組合の価値と実践を学ぶ

県生協連・会員生協役員研修交流会を68名の参加で開催しました。

岡山県県民生活部くらし安全安心課課長森脇啓治氏より、県生協連のヘルスチャレンジの取り組みが厚生労働省「健康寿命をのばそうアワード」で健康局長優良賞を受賞したことへのお祝いや消費者被害の撲滅、悪質事業者への対応等消費者行政の充実、強化などを進める「第3次岡山県消費生活基本計画」の施策の実施などにふれて挨拶が行なわれました。



くらし安全安心課  
森脇課長



日本生協連  
本田会長

続いて第一部では、日本生活協同組合連合会代表理事会長本田英一氏から「生協運動のいま、そして未来へー協同組合の価値と実践ー」をテーマに講演が行なわれました。

最初に日本生協連会長の役割や会長自身の経験から、「生協への理解」や「産直の価値」に関わるエピソードを交えた問題意識の紹介がありました。続いて、全国各地でそれぞれの生協が進めている事業と活動を通じた社会的取り組みについて、買い物不便な地域への対応、子育て家庭・高齢者・社会的弱者・生活困窮者などへの支援、貧困問題への対応、フードバンク活動、奨学金制度改善、防災・減災の取り組み、東日本大震災・熊本地震及び台風災害・豪雨災害の被災者支援、環境・エネルギーの取り組み、平和とヒバクシャ国際署名、エシカル消費など、多岐にわたるテーマにおける

全国での特徴的な取り組みや大切にしている考え方・本質などについて報告や説明がありました。次にそれらの取り組みを踏まえて、再確認の意味で、生協の基本要素や協同組合の精神と賀川豊彦が託したことなどの説明とともに、生協が21世紀の社会で果たす役割と2020ビジョン（ありたい姿）、アクションプランと第2期中期方針について理解を深めました。さらに、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の解説と生協の主な活動とのつながりや関わりについて、また、協同組合のユネスコ「無形文化遺産」登録の意義などにふれられました。最後に、アマゾンの脅威にどう立ち向かうのかという質問をよく受けるが、便利さには到底対抗できないものの、生協が組合員のくらしの課題を自分たちの力を使いながら解決していくという本来の目的・役割を見誤ったり、立ち位置を間違えささなければやれるはずだと結ばれました。あらためて生協や協同組合の基本的価値や意味、本質的な社会的役割を考えることが出来る研修となりました。

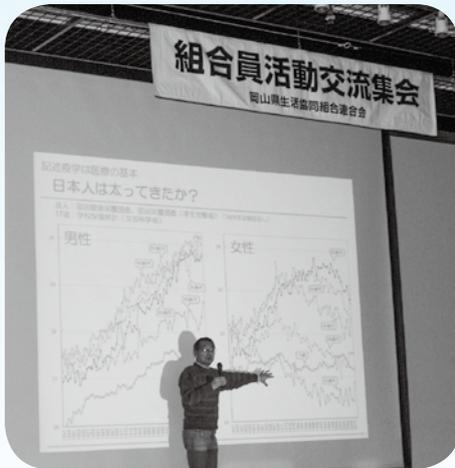
第二部では、岡山県の備中地方を中心に郷土芸能として親しまれている国指定重要無形民俗文化財の「備中神楽」について、岡山県神社丁神楽部所属の神光社神楽社中による演舞と解説を行い、その歴史や特徴的な演目など、岡山に息づく伝統文化にふれるとともに備中神楽への理解と愛着を深めました。



神光社神楽社中の備中神楽



## 栄養データにもとづく健康づくりのコツ



「安心して暮らせるまちづくり、健康づくり」をテーマに、県生協連主催の組合員活動交流集会を開催し、317名が参加して学びました。

開会挨拶に続き、「栄養データにもとづく健康づくりのコツ」と題して、食べ物（栄養）と健康とのつながりを疫学的に調べる「栄養疫学」研究の第一人者、東京大学大学院、医学系研究科社会予防疫学分野教授の佐々木敏先生の講演が行われました。まず最初に、「安心できる健康状態をどのように作ればいいのか」、「氾濫する栄養健康情報の中で、どれを信じ、どれを信じないか、その判断にはどのような規範や考え方の軸を持つべきなのか」について、「栄養学クイズ」をおりませながら、データや事実にもとづいた正しい考え方や確かな知識が大切であることを強調されました。次に最大の危険因子である「食塩」について、食塩摂取量と加齢に伴う血圧上昇量の調査結果から、

血圧が上がるのは多くは歳のせいではなく、塩のせいであることや栄養素摂取と高血圧との関連の全体像を把握することが大切なことなどを解説されました。最後に現在、日本生協連と佐々木先生がコラボして、全国の生協で取り組みが始まろうとしている「BDHQ」（簡易型自記式食事歴法質問表）を活用しての「たべるをはかる」取り組みで、自分の食生活を調べることにより、健康に大きな影響を与える食生活の改善につなげていくことや東京大学大学院の社会予防疫学分野のホームページに「BDHQ」の紹介動画をアップしていることなどの紹介がありました。時間が足りなく、用意された資料の半分程度しかお聞きすることができなくて残念でしたが、栄養データにもとづいた、ぶれない考え方を学ぶことができました。



### 【3つの会員生協から活動報告がありました】



- 岡大生協からは、「ミールカードを中心とした大学生協の食生活提案」のテーマで、現在の岡大生の食生活の実態を受け、食費を守りながらもしっかりと食事をしてもらうことや選食力を身につけてもらうこと、さらに保護者のみなさんにも安心を提供するために、「ミールカード」を提案していることなどの報告がありました。



- 岡山医療生協からは、「食のサポーターについて」のテーマで、組合員に「食」に対して正しい知識を持ってもらうこと、講座で得た知識・技術をまず自分の家庭で実践し、生活習慣病予防に役立てること、地域まると健康づくりにつなげることを目的に、「食のサポーター」に取り組んでいることやその活動内容などの報告がありました。



- おかやまコープからは「キッズお買物キッチン大作戦」のテーマで、子どもたちだけで、指示書にしたがって班の中で協力し合って買い物や調理をすることで、金銭感覚を培ったり考える力を養い、自分の力でできた達成感を感じてもらおうことなどを目的とした「朝ごはん」づくりの取り組みについて報告がありました。

## 1万人を超える参加者 健康づくりのきっかけづくり

全体で11,519人の参加者となるなど、今年もたくさんの方が参加しました。住民のみなさんをはじめ公民館や小学校・事業所にも配布ができ、健康づくりの「きっかけづくり」をアピールしました。今年度の試みとして「すこしお生活」「野菜たっぷり1日350g」「健康維持にウォーキング」「インフルエンザ予防にあいうべ体操」にQRコードを用意し、参考資料も充実しました。



### ■ 寄せられた感想

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 習慣になった。</li> <li>● これからも続けたい。</li> <li>● 健康づくりのきっかけになった。</li> <li>● あいうべ体操のおかげでインフルエンザや風邪にかからなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家族みんなが目標を持って達成できてよかった。</li> <li>● 健康のために楽しく取り組むことができたのはよかった。</li> <li>● 毎日続けることが大事だなと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全校児童、職員で取り組んだ。給食後忘れがちだった児童も友達に声をかけられ歯みがきを続けることができた。</li> <li>● 職場でのコミュニケーションが良くなった。お互い声かけし、健康・生活習慣にも気をつけるようになった。</li> </ul>
--	---	--

## 中国・四国ブロック地方消費者フォーラムが開催されました。1月25日(木) 高知

### つながる、ささえる、ひとりにしない地域づくり

第8回中国・四国ブロック地方消費者フォーラムが「つながる、ささえる、ひとりにしない地域づくり～みんなあが家族やき～」をテーマに開催され、120名が参加しました。特別報告では、昨年7月に徳島県に開設した消費者行政新未来総合オフィスで進められている全国展開を見据えたモデルプロジェクトを中心とした報告がありました。



### 団体活動報告

- 「外国人も高齢者も障がいのある方も、みんなあの道標に」をテーマとして高知大学地域まちづくりプロジェクト「コンパス」の報告がありました。バリアフリーユニバーサルデザインの観点から街を観察してより良いまちづくりを行うことを団体理念として活動しており、現在は高知の商店街を活性化させることを目的に誰もが利用しやすい商店街をつくることに取り組んでいる報告がありました。
- 「高齢者が若者を支える 高齢者と共に未来をつくる」をテーマに、ディサービス長老大学から報告がありました。高齢者の知識と経験は社会の宝であり、若者を支え、社会を創る力があるとして、「支援する若者」と「支援される高齢者」の関係をひっくり返す「逆支援型ディサービス」の取り組みを進めていることなどの報告がありました。



**グループディスカッション** では、「ねえ、誰をひとりにしたくないの?」をテーマに、参加者全員が「子ども」、「母親」、「高齢者」、「障がい者」、「生活困窮者」の中から、誰をひとりにしたくないのかでグループをつくり、それぞれのグループで「現在抱えている課題は何か」、「こんな取り組みができるといいな」をテーマに話し合いました。

## 岡山県学校生協

### 《 相続等対策セミナーに延べ133名参加 》

岡山県学校生協では弁護士、不動産鑑定士、司法書士などの専門家を招いて、実際の事例から相続対策などについての学ぶ「相続等対策セミナー」を開催しました。

また、遺品整理士から、遺品整理での現場の声として、「遺族はどのようなことで困っているか」についてお話しいただきました。

日 時 2018年2月11日、18日、25日、3月4日（計4回）13：30～15：40  
会 場 おかやま西川原プラザ（岡山市中区255番地）  
参加者人数 現職組合員及び退職組合員延べ133名



セミナー終了後には専門家による個別相談会も行いました。参加者は「両親の土地家屋の処分」「小規模宅地適応について」「成年後見人と家族信託」など様々な悩みを持って参加されていたようです。「将来のことを全部決めることは現時点では難しい。でも今やっておきたいこと」について有意義な学習ができました。

## 三井造船生協

### 《 家庭会チャリティバザー収益金を玉野市へ寄付 》

2017年12月19日（火）、三井生協家庭会は、10月に開催されたチャリティバザーの収益金 305,610円を玉野市へ寄付しました。家庭会和田睦子会長、岡本多賀子副会長、毛利静江副会長、三井生協武部吉治理事長が出席し、黒田玉野市長へ収益金を手渡したあと、家庭会の活動や生協の事業について懇談しました。収益金は玉野総合福祉センターのマッサージチェア、社会福祉協議会の貸し出し用ベッドの購入費に使われる予定です。

三井生協家庭会ではチャリティバザーが始まった昭和54年から毎年社会福祉のために玉野市へ寄付をしています。



## 岡山医療生協

### 《 「おかやま子育て応援宣言企業」 岡山県知事賞を受賞 》

「おかやま子育て応援宣言企業」岡山県知事賞を受賞しました。

岡山医療生協は「おかやま子育て応援宣言企業」に登録しています。この度応援宣言企業として登録されている企業の中から6社が県知事表彰を受賞することになり、岡山医療生協も受賞企業の1つになりました。受賞理由は「母と子のタッチケア」（0歳対象）から始まり「Baby'sサロン」（0～3歳「親子ふれあい快食会」（3歳～6歳）、「夏休み宿題応援隊」（小学生）など子どもの成長とともに用意されている子育て関連の行事がユニークな取り組みだからということでした。



## グリーンコープ生協おかやま

### 《 地区組合員総会を開催 》

今年も岡山5地区、倉敷2地区において地区組合員総会を開催しました。

参加した組合員の意識は高く、多くの方より2017年度の活動に関するいろいろな感想や意見を直接聞くことができ、とても充実した地区組合員総会となりました。

生協の運営には組合員の声を反映させていくことが、なによりも大切であり、地区組合員総会の開催によって、組合員主権の尊重・確立が進んでいると考えています。



## 倉敷医療生協

### 《「平和フェスタ」、「保健大会」を開催》

2月11日に「平和フェスタ」を3月17日に「保健大会」を開催しました。

「平和フェスタ」は、毎年建国記念の日に開催して今年で19回目です。1年間の平和を守る活動の報告や展示、被爆者2世3世の会の朗読劇、歌声で交流し、記念講演は八法亭みややっこさんの落語調によるお話しで大笑いしながら憲法学習を深めました。

「保健大会」は今年で33回目。脳トレや、ウォーキング、サプリメントの話に、すこ塩講習など、7つの分科会で健康寿命延伸に向けた学習にとりくみました。



## 岡山県労済生協（全労済岡山推進本部）

### 《全労済事務担当者研修会を開催》

全労済岡山推進本部では、2018年2月13日（火）全労済事務担当者研修会を開催しました。

防災・減災にむけた取り組みの紹介につづき、住まいる共済・団体生命共済の活用方法、協力団体からの事例報告を行いました。

- (1) 開催日時 2018年2月13日（火）13：30～17：30
- (2) 開催場所 ANAクラウンプラザホテル、岡山コンベンションセンター
- (3) 参加者数 149名
- (4) 第1部 防災・減災の取り組みについて
- 第2部 住まいる共済・団体生命共済の有効活用について  
協力団体による事例報告



## 就実生協

### 《「新入生交流会2018」を開催》

入学前の新入生を対象とした交流会を2日間開催しました。昨年に引き続き、2度目の開催でした。

今年は2日間で200人を超える新入生が参加してくれました。学科別の交流でお互いのことを知った後、グループで協力してできる簡単なゲームで先輩も一緒に盛り上がりました。ゲームをきっかけに会話も弾み、新入生だけで学内探検を行い、新入生同士の交流も深めることができました。参加者からは、入学前に友達ができてよかったなどの感想をいただき、とても好評でした。

入学前の新入生の不安を少しでも取り除くことができたとと思います。来年も内容をさらに充実させて、より多くの新入生に参加してもらえるように引き続き頑張りたいと思います。



## 津山医療生協

### 《バス企画で交流》

3月21日、昨年秋に台風で延期になった、バス交流企画を行いました。行き先は、福山の鞆の浦とその周辺。あいにく天気は小雨と強風。それでも全員時間通りに集合、80人がバス2台で出発。最初の草戸稲荷は雨もなくみんなでお参りをし、近くのお寺の五重の塔を散策しました。鞆の浦の仙酔島では雨と強風でとても観光どころではなかったです。ホテルの昼食でやっくとつろぎ、食後、一部の人達は港町を散策しました。

参加者は「天気は悪かったけど楽しかった。次回もぜひ行きたい。」と感想を述べていました。



## 岡山大学生協

### 《 自宅生&保護者説明会の取り組み 》

岡山大学生協では、初めて親元を離れて一人暮らしを迎える新入生に「アパート・マンション」の紹介を行っていますが、自宅から通学予定の新入生にも「自宅生&保護者説明会」を開催し、高校時代とは大きく変化する大学生活について様々なアドバイスを行っています。

今年も岡大生の先輩として生協学生委員会のメンバーが中心となって「推薦合格者&保護者説明会」「自宅生&保護者説明会」を、推薦・AO・前期・後期などそれぞれの合格発表のタイミングで合計10回開催し、岡大生のライフスタイルのご案内・生協/共済加入・教科書購入方法・生協店舗の上手な活用方法など様々な情報提供を行いました。全10回の累計で、全自宅生の約8割にあたる650組程度の新入生と保護者の皆さんに参加していただく事ができました。



## おかやまコープ

### 《 「お買い物サポート協力協定」 を締結 》

3月19日、新庄村と「お買い物サポート協力協定」を締結しました。

4月4日にリニューアルオープンする新庄村の道の駅「がいせん桜 新庄宿」に、コープコーナーを設け、生鮮食品や生活用品の販売を行います。「包括連携協定」を結ぶ新庄村からの要請に応じて検討をすすめた結果、締結に至りました。地域の課題解決に向けて、村と協力しながらすすめていきます。



### 《 「平和のひろば2018」 を開催 》



3月30日、オルガホールにて「平和のひろば2018」を開催し、組合員や学生など約250名が参加しました。

ノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN)」の川崎哲さんから「核兵器をなくすためにできること」をテーマにした講演と、広島県立福山工業高校の生徒のみなさんから「最新技術で伝える“原爆の記憶”」として、バーチャルリアリティを使った報告がありました。

参加者は改めて「平和」について考える機会となり、6月からの「ヒバクシャ国際署名」につなげていきます。

## 公 告

2018年4月9日

岡山県生活協同組合連合会  
会長理事 近藤 清志 (公印省略)

### 岡山県生協連第59回通常総会の開催について

岡山県生活協同組合連合会定款第45条に基づいて、第59回通常総会を下記の通り開催します。

#### 記

1. 開催日時 2018年6月26日 (火) 10:00~11:40
2. 開催会場 オルガホール (岡山市北区奉還町一丁目7-7)
3. 議 題
  - 第1号議案 2017年度事業報告書および決算関係書類承認の件 (監査報告含む)
  - 第2号議案 2018年度事業計画および予算決定の件
  - 第3号議案 役員補充選任の件
  - 第4号議案 役員報酬決定の件
4. 代議員 総会代議員選出基準にもとづいて、別紙にて会員生協にお知らせします。
5. 役員補充選任
  - ・定款第19条、第20条に基づき、役員を補充選任を行います。
  - ・補充は、欠員となっている以下の区分の役員数とします。
    - 会員理事区 (2名) 全体理事区 (女性枠) (1名) 監事区 (1名)
  - ・候補者の推薦は、5月11日 (金) までとし、第7回理事会にて候補者を決定し、役員補充選任議案の通知は、定款第48条4項により行います。

## 復興公営住宅、家賃上昇に不安

「家賃を払いきれなくなったら、恥ずかしがらずに生活保護の手続きをした方がいいですよ」。石巻市のぞみ野第二町内会長の増田敬さんは、住民にそう話すことがあります。復興公営住宅の入居者のうち政令月収8万円以下の低所得世帯は、国の「家賃低減事業」で家賃が低く抑えられています。5年間は少ない負担で住むことができますが、6年目から少しずつ上がり、11年目には一般の公営住宅と同じになります。宮城県の復興公営住宅入居世帯のうち約7割は政令月収8万円以下の低所得世帯で、その多くは高齢者です。また、災害などで財産を失った時に適用される「雑損控除」も期限（東日本大震災は特例で5年）があります。雑損控除が無くなると政令月収が上がり、家賃にも影響します。復興公営住宅は、被災した人たちにとってようやく落ち着いた“安住の地”です。「家賃を払えずに復興公営住宅を出ていく人が多くなれば、それだけで社会問題になるでしょう。私たちも、家賃上昇に備えて生活設計を立てようと話し合っていますが、行政には低所得世帯も安心して住み続けられる施策を考えてほしいです」。



石巻市新蛇田地区の復興公営住宅

被災自治体は家賃低減事業の延長を国に要望していますが、復興庁は「家賃補助は自治体ごとに対応が可能」として予定通り10年で事業を終了する予定です。長い避難生活を経て復興公営住宅に入居した人たちが、再び“安住の地探し”をしなくて済むよう、早急に知恵を絞ることが求められています。

## 消費者月間講演会

## 講演テーマ「なんか変？こんな表示」

### 「表示」は消費者へのメッセージ、こんなところに気をつけて！

「食品表示法」が変わり、新しい食品表示制度になりました。食品の原材料、栄養成分、アレルギーなど、表示のルールが変わっています。また、「トクホ（特定保健用食品）」に加えて、「機能性表示食品」も登場しました。「健康食品」の広告もあふれています。

こんな時だからこそ、食品の由来を読み解く大切な情報である「食品表示」について、みんなで考えてみませんか。ぜひご参加ください。



日時 2018年 **6月2日(土)** 14時40分～16時40分

会場 **オルガホール** 岡山市北区奉還町1-7-7 (岡山駅から徒歩6分)

主催 消費者ネットおかやま・岡山県消費者団体連絡協議会 共催 岡山県

講師 群馬大学名誉教授 **高橋 久仁子** 先生

日本女子大学家政学部食物学科卒業、東北大学大学院農学研究科食糧化学専攻博士課程修了、農学博士  
1996年 群馬大学教育学部家政専攻教授

2014年 群馬大学名誉教授

著書 『「健康食品」ウソ・ホント』、『「食べもの神話」の落とし穴』（講談社）、「フードファディズム-メディアに惑わされない食生活」（中央法規）など